

2022 中野区 区民意識・実態調査

《概要版》

調査の概要

【調査の項目】

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1 定住意向について | 16 商店街について |
| 2 生活環境について | 17 公園・広場等の利用について |
| 3 中野区への愛着度、中野区の魅力について | 18 地震災害への対策について |
| 4 区政参加について | 19 人権・男女共同参画について |
| 5 区政情報の入手について | 20 パートナーシップ宣誓について |
| 6 電子通信（デジタル）端末の利用状況について | 21 ユニバーサルデザインについて |
| 7 区立施設の貸出利用について | 22 子どもの権利について |
| 8 社会や地域との関わりについて | 23 次世代に渡る定住意向について |
| 9 文化芸術活動について | 24 環境に関する理解・関心について |
| 10 多文化共生について | 25 基本構想について |
| 11 スポーツ支援活動への参加について | 26 中野区のまちの姿について |
| 12 生涯学習について | 27 SDGsについて |
| 13 自転車利用について | 28 施策への評価・要望について |
| 14 中野駅周辺について | |
| 15 中野駅周辺以外の鉄道駅（駅周辺）について | |

【調査対象】 18歳以上の中野区民

【標本数】 2,000人

【有効回収数】 1,016人（50.8%）

【抽出方法】 無作為抽出法

【調査方法】 郵送配布、郵送回収・インターネット回収併用

【調査期間】 令和4年9月26日（月）～令和4年10月20日（木）

結果の見方

- (1)（複数回答）と記述されたもの以外は、選択肢を1つだけ選ぶ設問である。
- (2) 集計は、小数点第2位を四捨五入して算出した。したがって、百分比の合計が100%に満たない、または上回る場合がある。
- (3) 回答の比率（%）は、その設問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問はすべて比率を合計すると100%を超えることがある。
- (4) グラフに表記されている「n=*」（*は数字）は、対象の母数を表している。
- (5) グラフに表記されている[]内の数字は2021年調査の対象の母数及び回答の比率を表している。

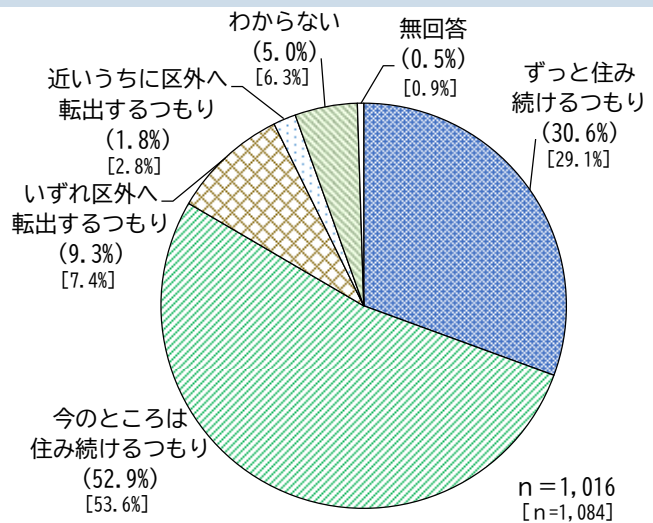
2023年（令和5年）2月
中野区

1 定住意向について

(1) 区内定住意向

定住意向を聞いたところ、「ずっと住み続けるつもり」(30.6%)と「今のところは住み続けるつもり」(52.9%)を合わせた《定住意向あり》(83.5%)は8割前半となっている。

一方、「いずれ区外へ転出するつもり」(9.3%)と「近いうちに区外へ転出するつもり」(1.8%)を合わせた《転出意向あり》(11.1%)は約1割となっている。

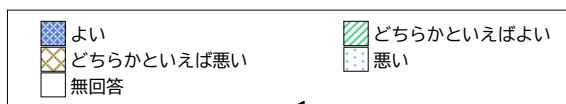
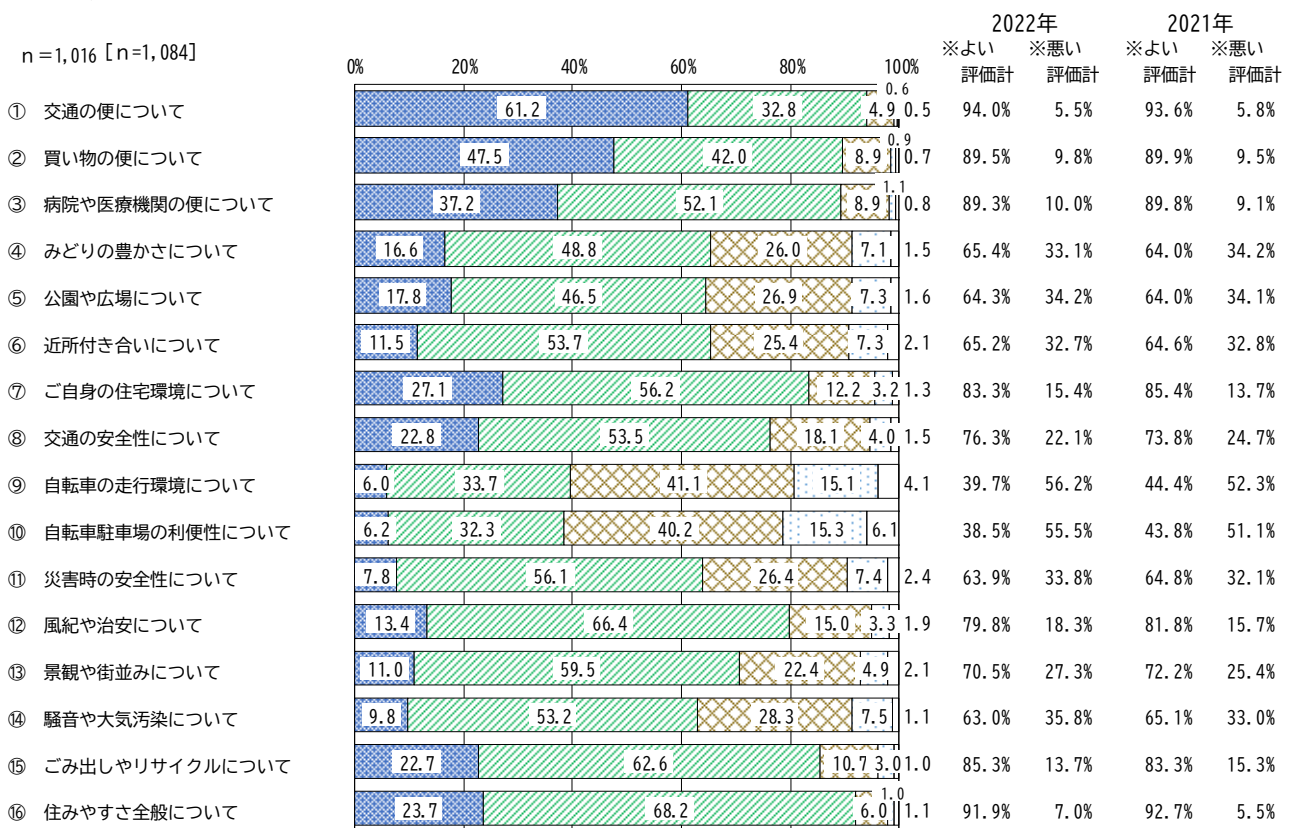


2 生活環境について

(1) 生活環境の評価

自宅周辺の生活環境についてどのように感じるか16項目にわたり聞いたところ、「よい」と「どちらかといえばよい」を合わせた《よい評価》は「①交通の便について」(94.0%)が最も高く、次いで「⑯住みやすさ全般について」(91.9%)、「②買い物の便について」(89.5%)となっている。一方、「どちらかといえば悪い」と「悪い」を合わせた《悪い評価》は「⑨自転車の走行環境について」(56.2%)が最も高く、次いで「⑩自転車駐車場の利便性について」(55.5%)、「⑭騒音や大気汚染について」(35.8%)となっている。

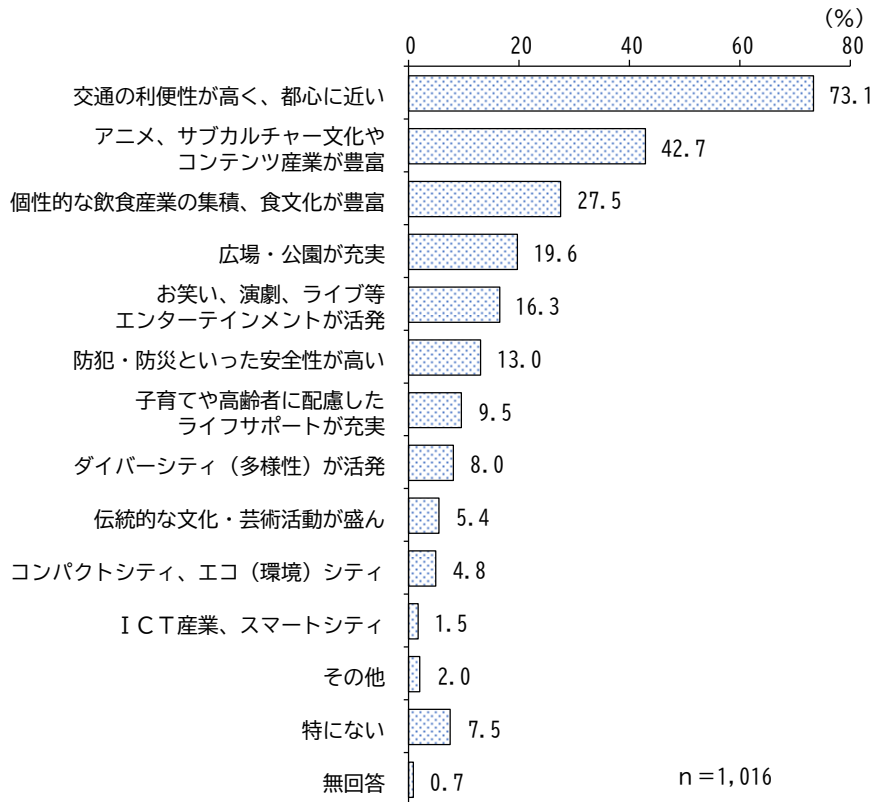
n=1,016 [n=1,084]



3 中野区への愛着度、中野区の魅力について

(1) 中野区の魅力 (ブランドイメージ)

中野区の街の魅力 (ブランドイメージ) (複数回答) を聞いたところ、「交通の利便性が高く、都心に近い」(73.1%) が7割前半で最も高く、次いで「アニメ、サブカルチャー文化やコンテンツ産業が豊富」(42.7%)、「個性的な飲食産業の集積、食文化が豊富」(27.5%)、「広場・公園が充実」(19.6%)となっている。

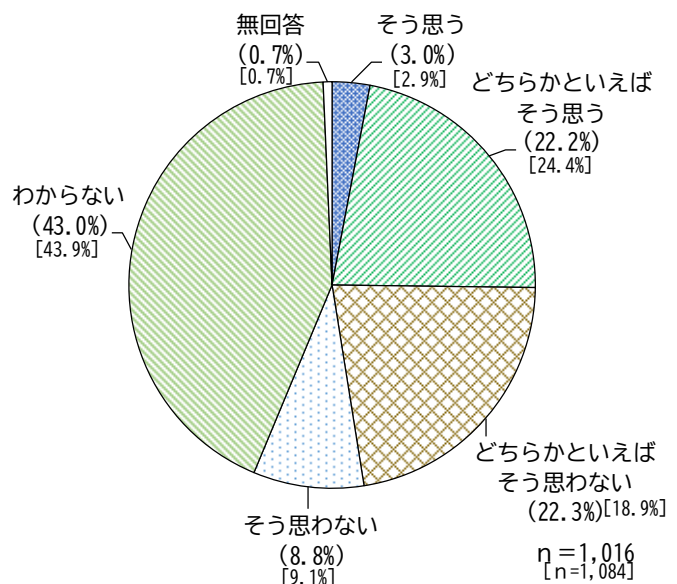


4 区政参加について

(1) 区民の意見の反映度

区民の意見の反映度を聞いたところ、「そう思う」(3.0%)と「どちらかといえばそう思う」(22.2%)を合わせた「反映されていると思う」(25.2%)は2割半ばとなっている。

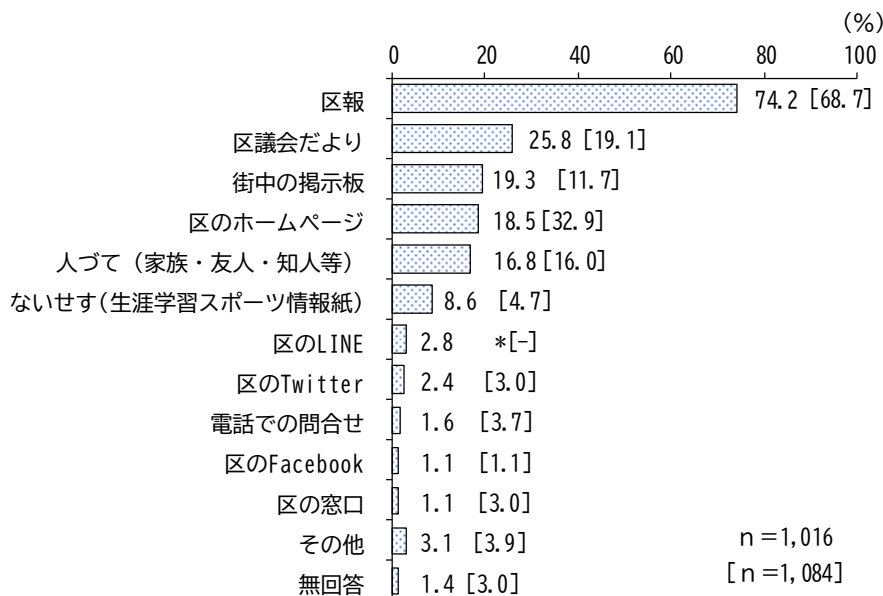
一方、「どちらかといえばそう思わない」(22.3%)と「そう思わない」(8.8%)を合わせた「反映されていないと思う」(31.1%)は約3割となっている。



5 区政情報の入手について

(1) 区政情報の入手方法

中野区の区政情報の入手方法（複数回答）を聞いたところ、「区報」（74.2%）と7割半ばで最も高く、次いで「区議会だより」（25.8%）、「街中の掲示板」（19.3%）、「区のホームページ」（18.5%）となっている。

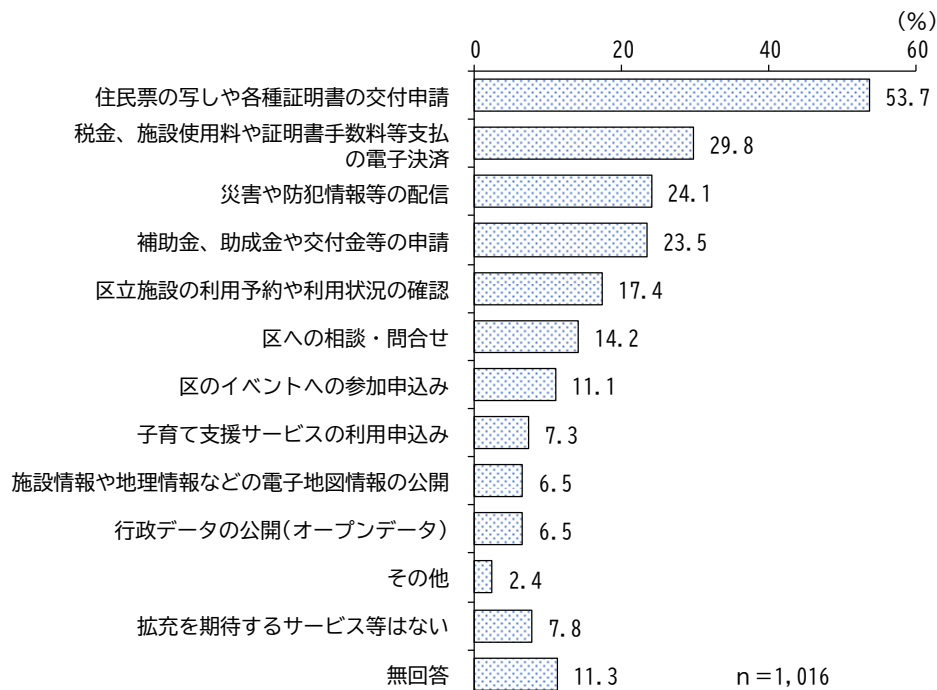


*2022年調査からの選択肢

6 電子通信（デジタル）端末の利用状況について

(1) 電子化の拡充を期待する区のサービス等

電子化の拡充を期待する区のサービス等（複数回答）を聞いたところ、「住民票の写しや各種証明書の交付申請」（53.7%）が5割前半で最も高く、次いで「税金、施設使用料や証明書手数料等支払の電子決済」（29.8%）、「災害や防犯情報等の配信」（24.1%）、「補助金、助成金や交付金等の申請」（23.5%）となっている。

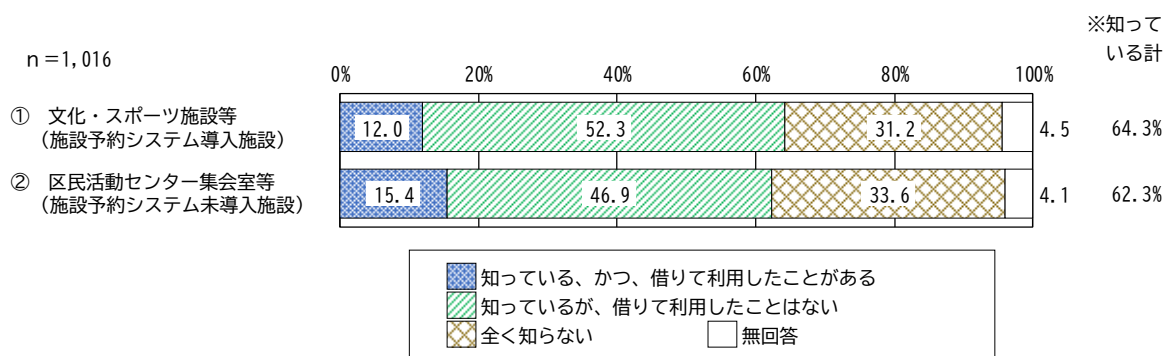


7 区立施設の貸出利用について

(1) 区立施設の貸出利用

区立施設の貸出利用について聞いたところ、【①文化・スポーツ施設等（施設予約システム導入施設）】では「知っているが、借りて利用したことはない」(52.3%) が5割前半で最も高く、次いで「全く知らない」(31.2%)、「知っている、かつ、借りて利用したことがある」(12.0%) となっている。「知っている、かつ、借りて利用したことがある」と「知っているが、借りて利用したことはない」を合わせた「知っている」(64.3%) は6割半ばとなっている。

【②区民活動センター集会室等（施設予約システム未導入施設）】では「知っているが、借りて利用したことはない」(46.9%) が4割半ばで最も高く、次いで「全く知らない」(33.6%)、「知っている、かつ、借りて利用したことがある」(15.4%) となっている。「知っている」(62.3%) は6割前半となっている。

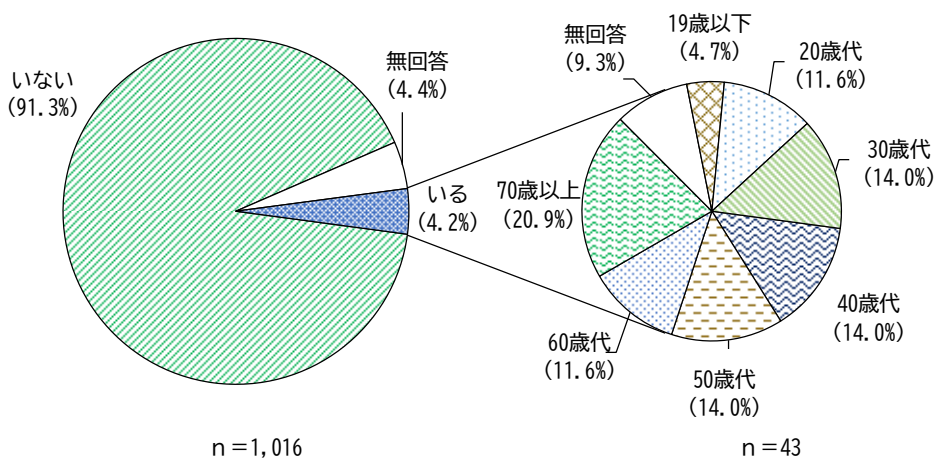


8 社会や地域との関わりについて

(1) ひきこもりの有無・年代

世帯にひきこもり状態の方がいるかどうかを聞いたところ、「いない」(91.3%) が約9割、「いる」は4.2%となっている。

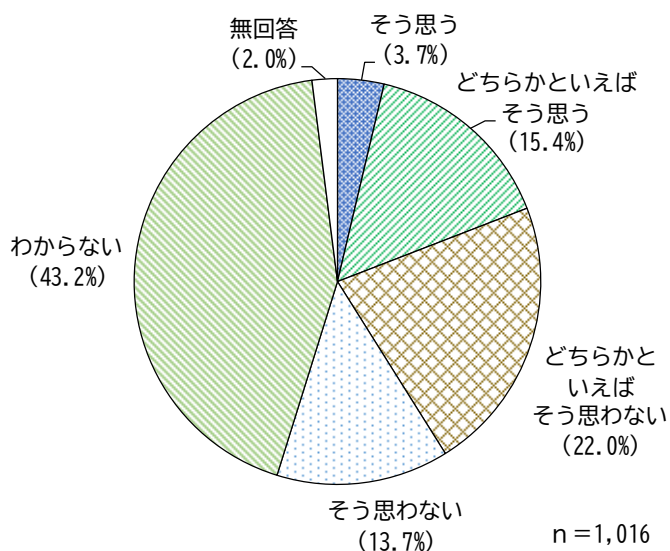
「いる」と回答した人にその方の年代を聞いたところ、「70歳以上」(20.9%) が最も高く、次いで「30歳代」(14.0%)、「40歳代」(14.0%)、「50歳代」(14.0%) が同率となっている。



9 文化芸術活動について

(1) 中野区からの文化芸術活動における情報発信

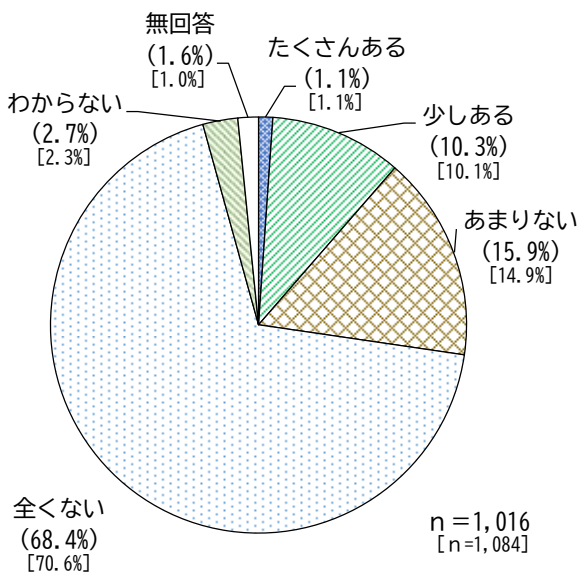
文化芸術活動における情報発信が十分だと思うか聞いたところ、「そう思う」(3.7%)と「どちらかといえばそう思う」(15.4%)を合わせた「**十分だと思う**」(19.1%)は約2割、「どちらかといえばそう思わない」(22.0%)と「そう思わない」(13.7%)を合わせた「**十分だと思わない**」(35.7%)は3割半ばとなっている。



10 多文化共生について

(1) 地域に暮らす外国人と交流する機会の有無

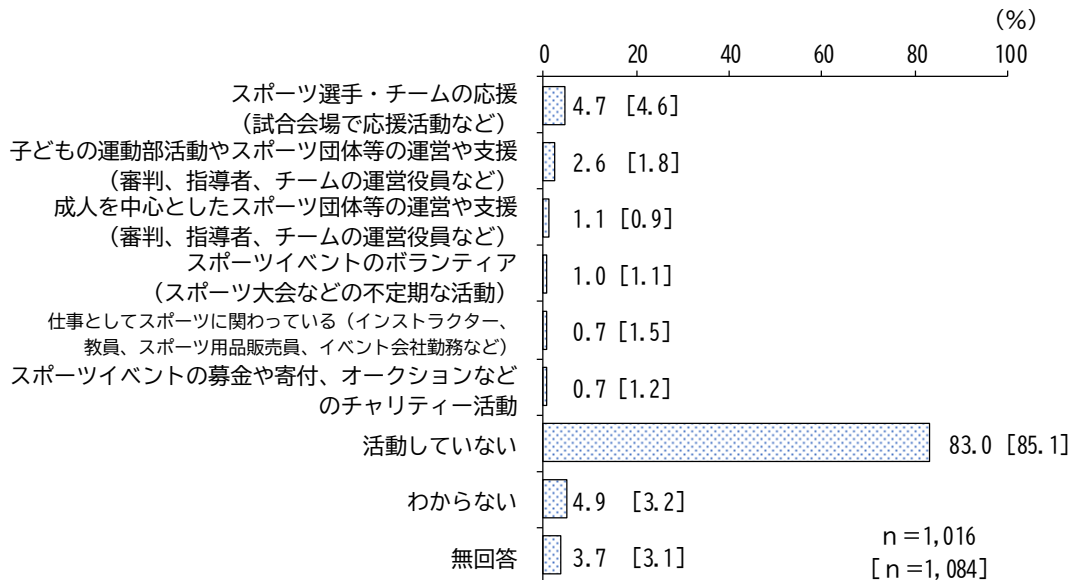
地域に暮らす外国人と交流する機会の有無を聞いたところ、「たくさんある」(1.1%)と「少しある」(10.3%)を合わせた「**機会がある**」(11.4%)は約1割、「あまりない」(15.9%)と「全くない」(68.4%)を合わせた「**機会がない**」(84.3%)は8割半ばとなっている。



11 スポーツ支援活動への参加について

(1) 最近1年間に関わったスポーツを支える活動

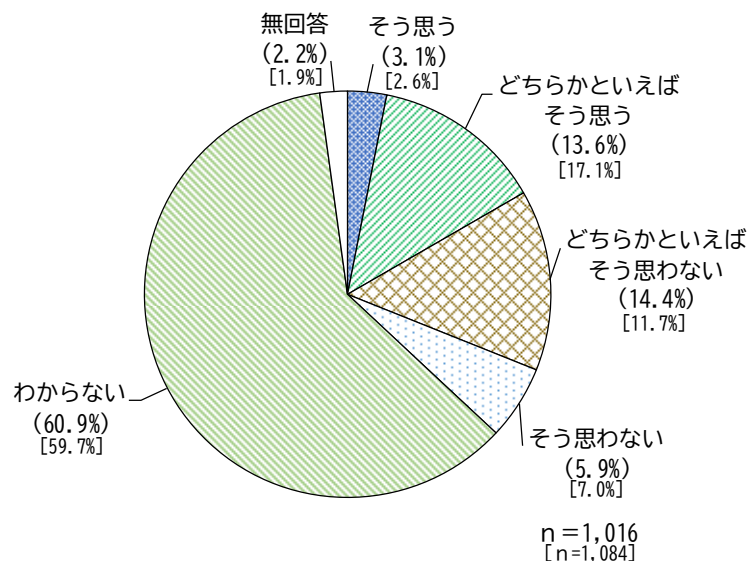
最近1年間に関わったスポーツを支える活動（複数回答）を聞いたところ、「スポーツ選手・チームの応援（試合会場で応援活動など）」が4.7%で最も高くなっている。一方、「活動していない」（83.0%）は8割前半と高くなっている。



12 生涯学習について

(1) 生涯学習の機会の充実度

生涯学習の機会が充実していると思うか聞いたところ、「そう思う」（3.1%）と「どちらかといえばそう思う」（13.6%）を合わせた「そう思う」（16.7%）は1割半ば、「どちらかといえばそう思わない」（14.4%）と「そう思わない」（5.9%）を合わせた「そう思わない」（20.3%）は約2割となっている。

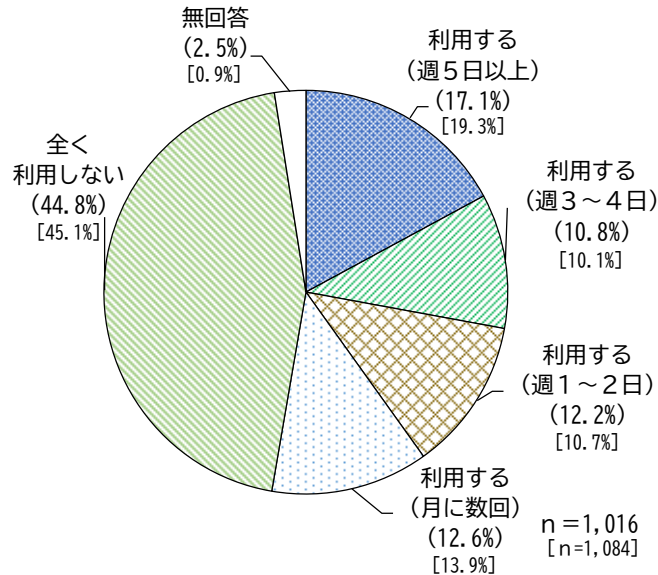


13 自転車利用について

(1) 自転車の利用頻度

自転車の利用頻度を聞いたところ、「全く利用しない」(44.8%)が4割半ばと最も高く、次いで「利用する(週5日以上)」(17.1%)、「利用する(月に数回)」(12.6%)となっている。

「利用する(週5日以上)」(17.1%)、「利用する(週3~4日)」(10.8%)、「利用する(週1~2日)」(12.2%)を合わせた「週1日以上」(40.1%)は約4割となっている。

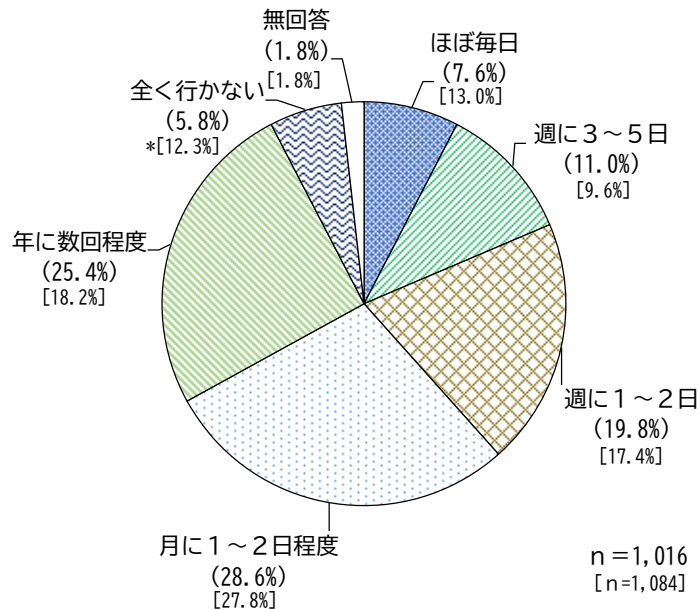


14 中野駅周辺について

(1) 中野駅周辺に行く頻度

中野駅周辺に行く頻度を聞いたところ、「月に1~2日程度」(28.6%)と2割後半で最も高く、次いで「年に数回程度」(25.4%)、「週に1~2日」(19.8%)となっている。

「ほぼ毎日」(7.6%)、「週に3~5日」(11.0%)、「週に1~2日」(19.8%)を合わせた「週1日以上」(38.4%)は3割後半となっている。

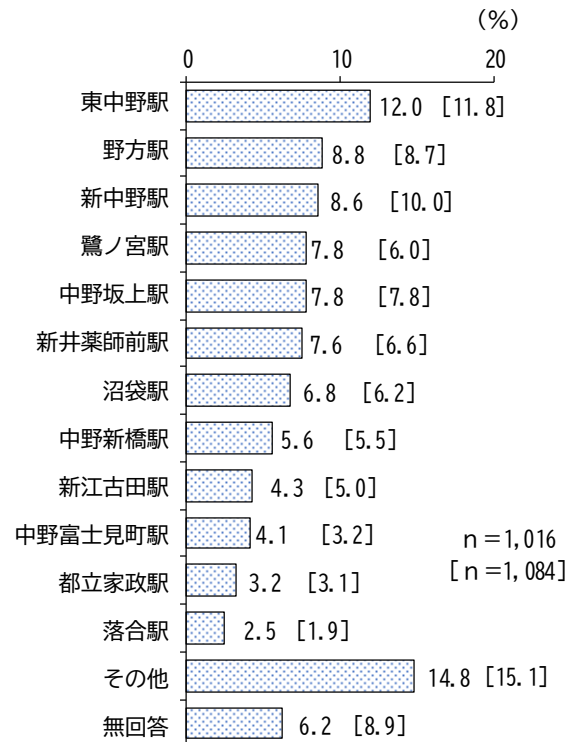


*2021年調査では、「ほとんど行かない」

15 中野駅周辺以外の鉄道駅（駅周辺）について

(1) 最も利用する鉄道駅（駅周辺）

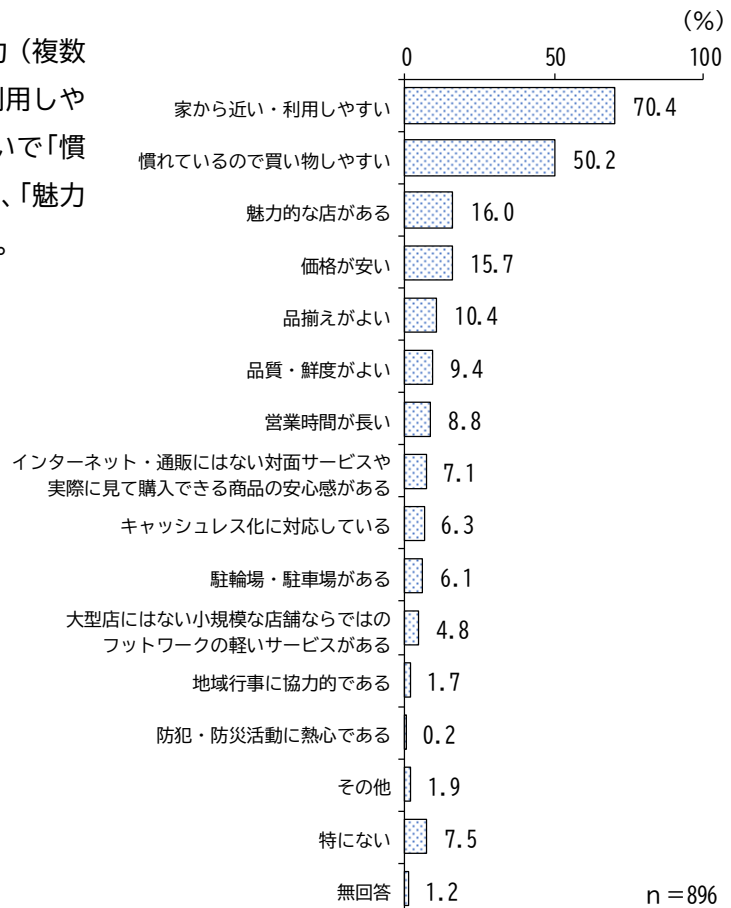
日常で最も利用する鉄道駅（駅周辺）を聞いたところ、「東中野駅」（12.0%）が1割前半で最も高く、次いで「野方駅」（8.8%）、「新中野駅」（8.6%）となっている。



16 商店街について

(1) 商店街の利用目的や魅力

商店街を利用する人に利用目的や魅力（複数回答）を聞いたところ、「家から近い・利用しやすい」（70.4%）が約7割で最も高く、次いで「慣れているので買い物しやすい」（50.2%）、「魅力的な店がある」（16.0%）となっている。

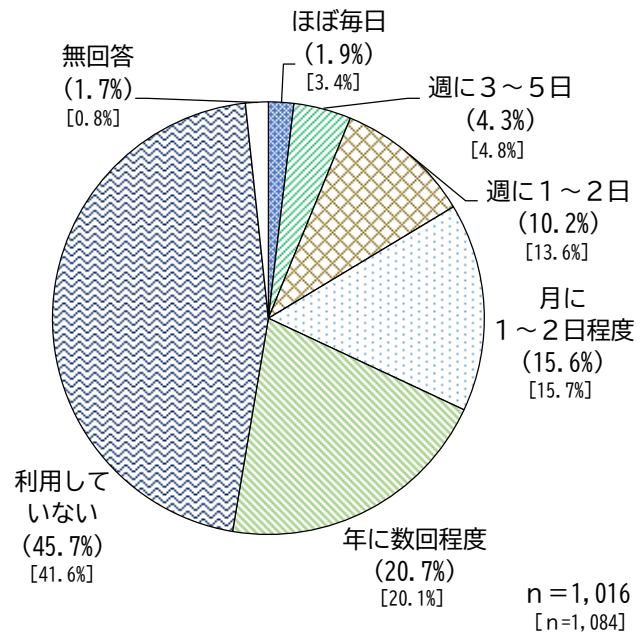


17 公園・広場等の利用について

(1) 公園や広場の利用頻度

公園や広場の利用頻度を聞いたところ、「利用していない」(45.7%)と4割半ばで最も高く、次いで「年に数回程度」(20.7%)、「月に1～2日程度」(15.6%)となっている。

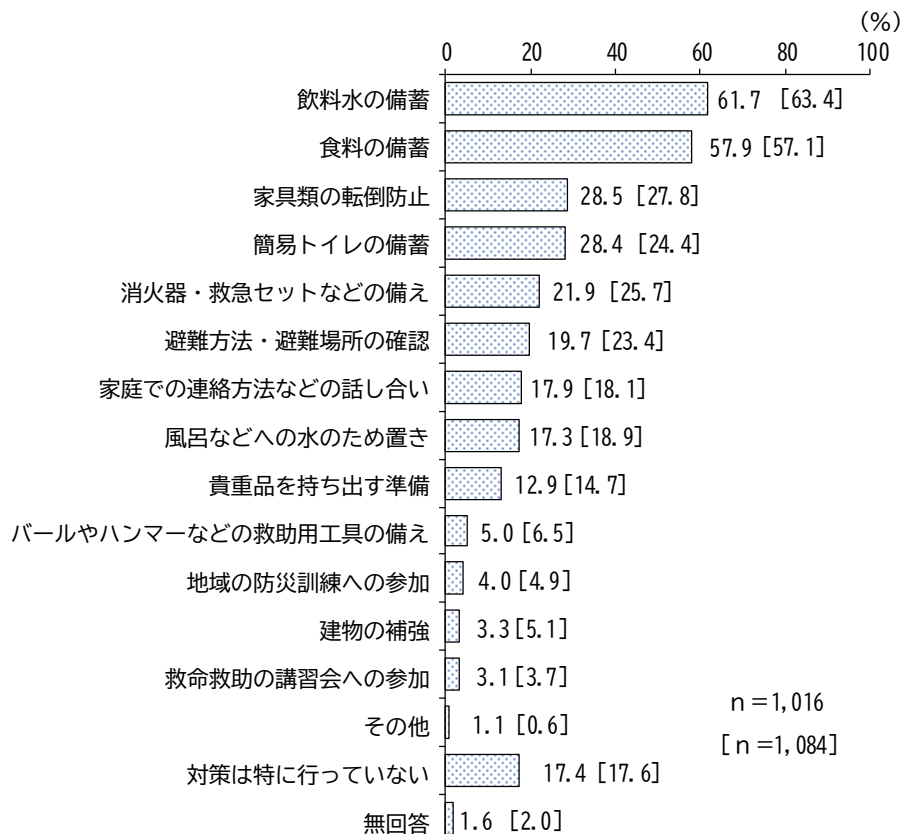
「ほぼ毎日」(1.9%)、「週に3～5日」(4.3%)、「週に1～2日」(10.2%)を合わせた「週1日以上利用あり」(16.4%)は1割半ばとなっている。



18 地震災害への対策について

(1) 家庭での備え

地震災害に備えて家庭内で行っている対策(複数回答)を聞いたところ、「飲料水の備蓄」(61.7%)が約6割で最も高く、次いで「食料の備蓄」(57.9%)、「家具類の転倒防止」(28.5%)、「簡易トイレの備蓄」(28.4%)となっている。

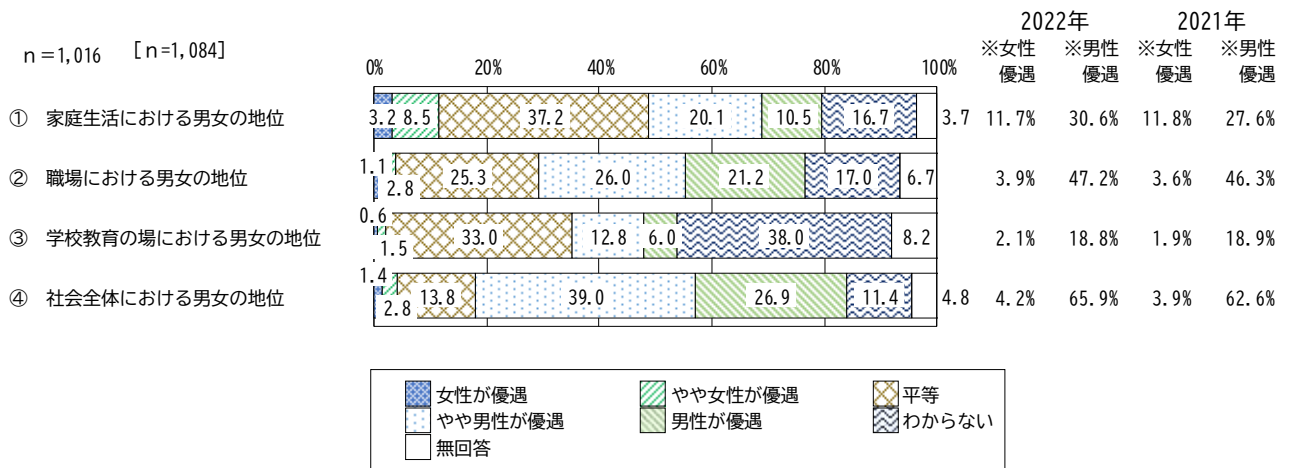


19 人権・男女共同参画について

(1) 男女の地位の平等感

4つの分野において、男女の地位は平等だと思うか聞いたところ、「平等」が最も高いのは『①家庭生活における男女の地位』(37.2%)であり、次いで『③学校教育の場における男女の地位』(33.0%)、『②職場における男女の地位』(25.3%)、『④社会全体における男女の地位』(13.8%)となっている。

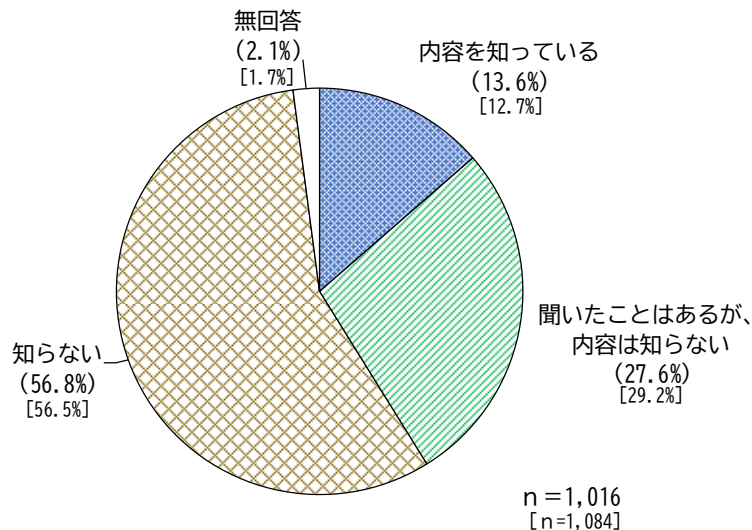
4つの分野はいずれも、「男性が優遇」と「やや男性が優遇」を合わせた「男性優遇」が、「女性が優遇」と「やや女性が優遇」を合わせた「女性優遇」を上回っている。『④社会全体における男女の地位』では、「男性優遇」(65.9%)と「女性優遇」(4.2%)の格差が61.7ポイントと最も大きくなっている。



20 パートナーシップ宣誓について

(1) パートナーシップ宣誓の認知度

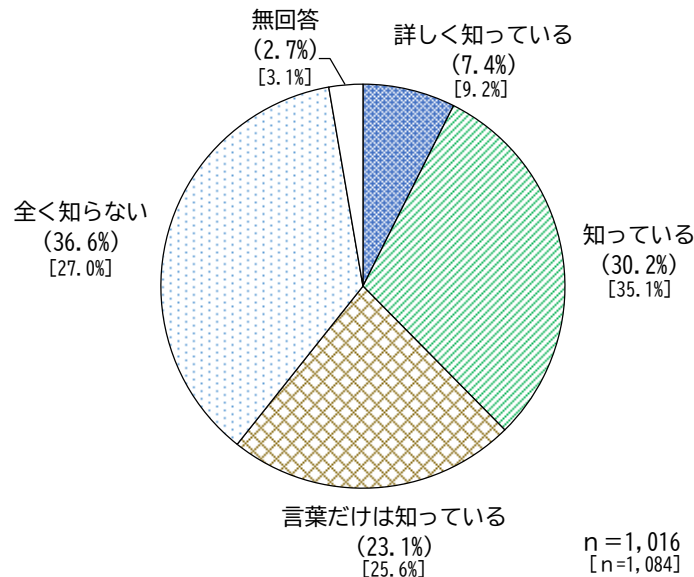
中野区パートナーシップ宣誓の認知度を聞いたところ、「知らない」(56.8%)が5割半ばと最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」(27.6%)、「内容を知っている」(13.6%)となっている。



21 ユニバーサルデザインについて

(1) 「ユニバーサルデザイン」の認知度

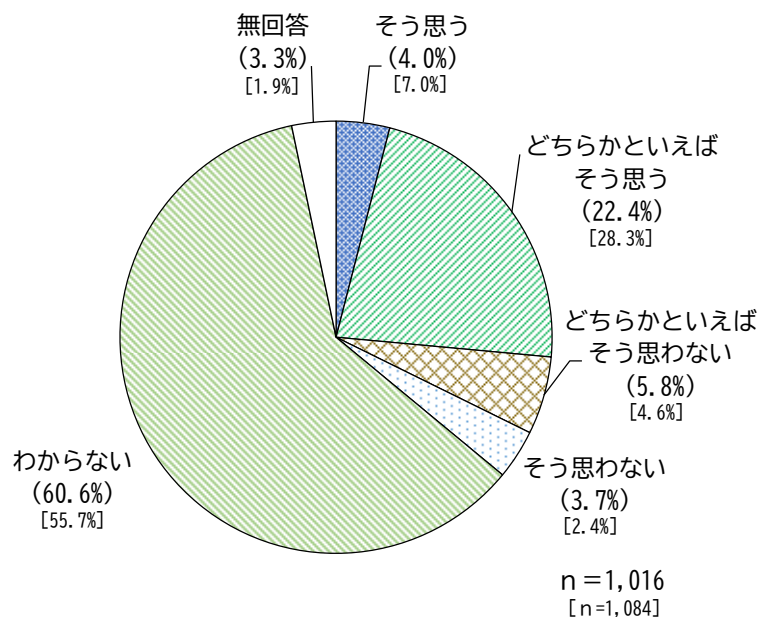
「ユニバーサルデザイン」の認知度を聞いたところ、「詳しく知っている」(7.4%)、「知っている」(30.2%)、「言葉だけは知っている」(23.1%)を合わせた「知っている」(60.7%)は約6割で、「全く知らない」(36.6%)は3割半ばとなっている。



22 子どもの権利について

(1) 子どもの権利

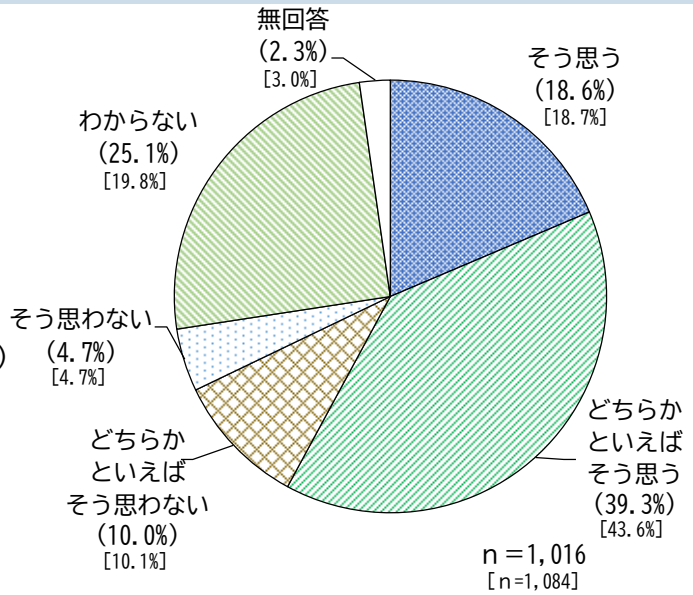
子どもの権利が守られているかを聞いたところ、「そう思う」(4.0%)と「どちらかといえばそう思う」(22.4%)を合わせた「そう思う」(26.4%)は2割半ばとなっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(5.8%)と「そう思わない」(3.7%)を合わせた「そう思わない」(9.5%)は1割未満となっている。



23 次世代に渡る定住意向について

(1) 次世代に渡る定住意向

中野区のまちは次世代を担う子どもたちに住んでもらいたいまちだと思うかを聞いたところ、「そう思う」(18.6%)と「どちらかといえばそう思う」(39.3%)を合わせた「そう思う」(57.9%)が5割後半、「どちらかといえばそう思わない」(10.0%)と「そう思わない」(4.7%)を合わせた「そう思わない」(14.7%)が1割半ばとなっている。

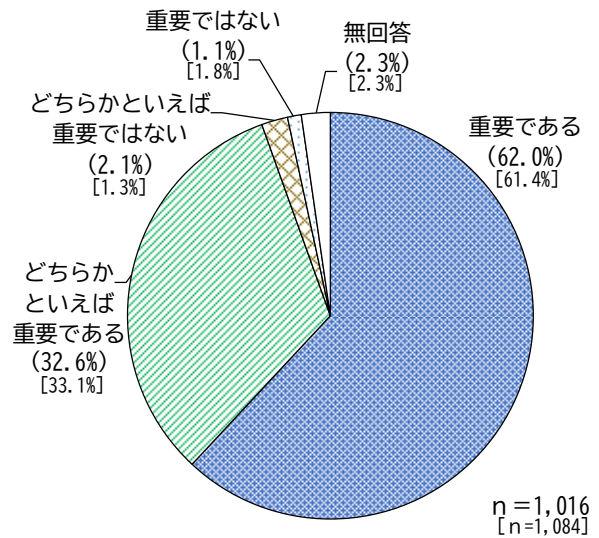


24 環境に関する理解・関心について

(1) 環境問題対策の重要度

環境問題対策の重要度を聞いたところ、「重要である」(62.0%)と「どちらかといえば重要である」(32.6%)を合わせた「重要である」(94.6%)は9割半ばとなっている。

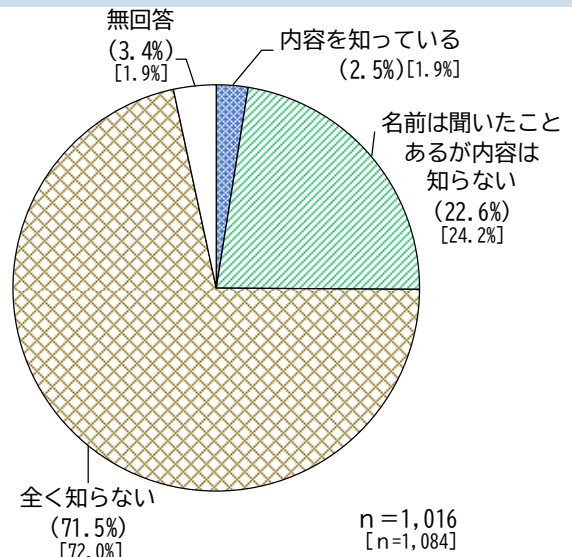
一方、「どちらかといえば重要ではない」(2.1%)と「重要ではない」(1.1%)を合わせた「重要ではない」(3.2%)は1割未満となっている。



25 基本構想について

(1) 中野区基本構想の認知度

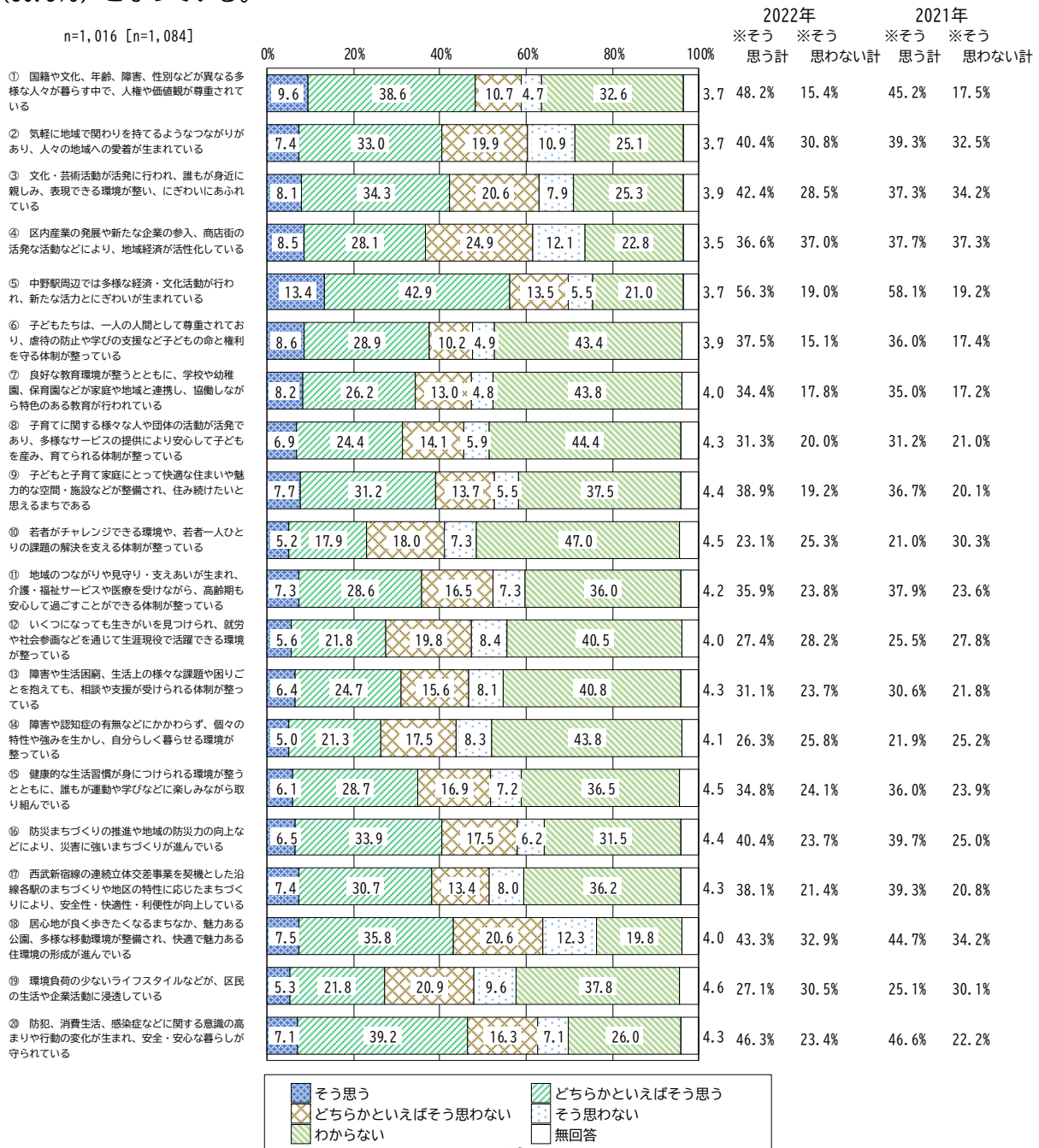
中野区基本構想の認知度を聞いたところ、「全く知らない」(71.5%)が約7割で最も高く、「名前は聞いたことがある内容は知らない」(22.6%)が2割前半、「内容を知っている」(2.5%)が1割未満となっている。



26 中野区のまちの姿について

(1) 中野区のまちの姿について

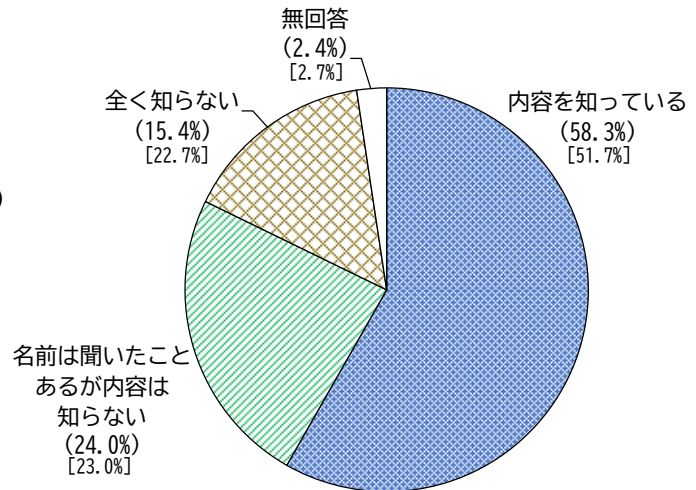
中野区のまちの姿について、「現在の中野区に対する、あなたの生活における実感」を聞いたところ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた「**そう思う**」は、『⑤中野駅周辺では多様な経済・文化活動が行われ、新たな活力とにぎわいが生まれている』(56.3%)が5割半ばと最も高く、次いで『①国籍や文化、年齢、障害、性別などが異なる多様な人々が暮らす中で、人権や価値観が尊重されている』(48.2%)、『⑩防犯、消費生活、感染症などに関する意識の高まりや行動の変化が生まれ、安全・安心な暮らしが守られている』(46.3%)となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた「**そう思わない**」は、『④区内産業の発展や新たな企業の参入、商店街の活発な活動などにより、地域経済が活性化している』(37.0%)が3割後半と最も高く、次いで『⑩居心地が良く歩きたくなるまちなか、魅力ある公園、多様な移動環境が整備され、快適で魅力ある住環境の形成が進んでいる』(32.9%)、『②気軽に地域で関わりを持てるようなつながりがあり、人々の地域への愛着が生まれている』(30.8%)となっている。



27 SDGsについて

(1) SDGsの認知度

SDGsの認知度を聞いたところ、「内容を知っている」(58.3%)が5割後半で最も高く、「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」(24.0%)が2割半ば、「全く知らない」(15.4%)が1割半ばとなっている。



n=1,016
[n=1,084]

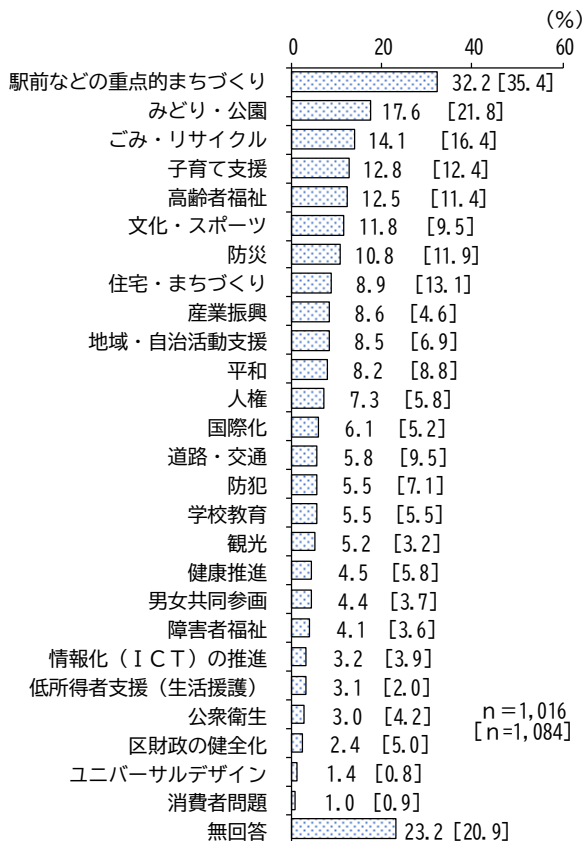
28 施策への評価・要望について

(1) 区の施策への評価と要望

区が特に力を入れていると評価できる施策(複数回答)を聞いたところ、「駅前などの重点的まちづくり」(32.2%)が3割前半で最も高く、次いで「みどり・公園」(17.6%)、「ごみ・リサイクル」(14.1%)となっている。

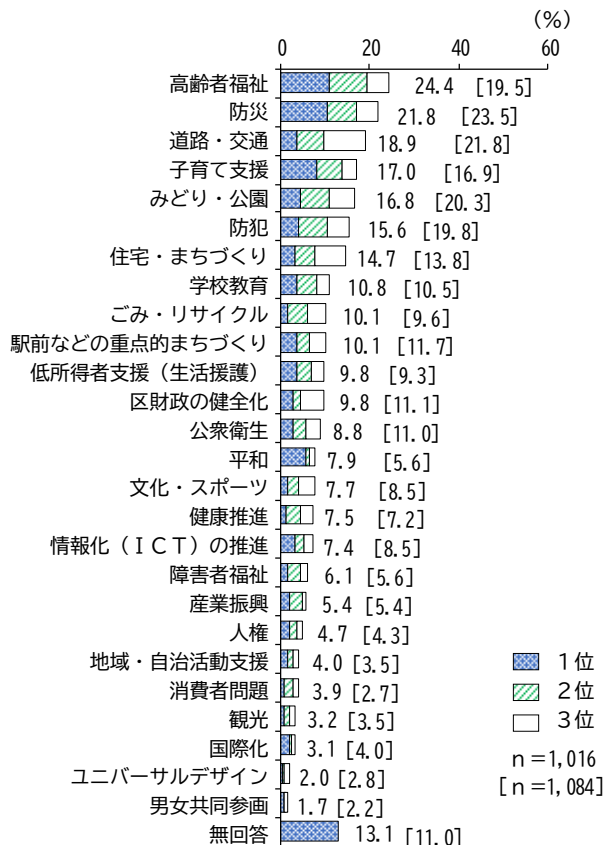
今後特に力を入れてほしい施策について第1位から第3位までの順位を聞いたところ、合計では「高齢者福祉」(24.4%)が2割半ばで最も高く、次いで「防災」(21.8%)、「道路・交通」(18.9%)となっている。

【区の施策への評価】(複数回答)



n=1,016
[n=1,084]

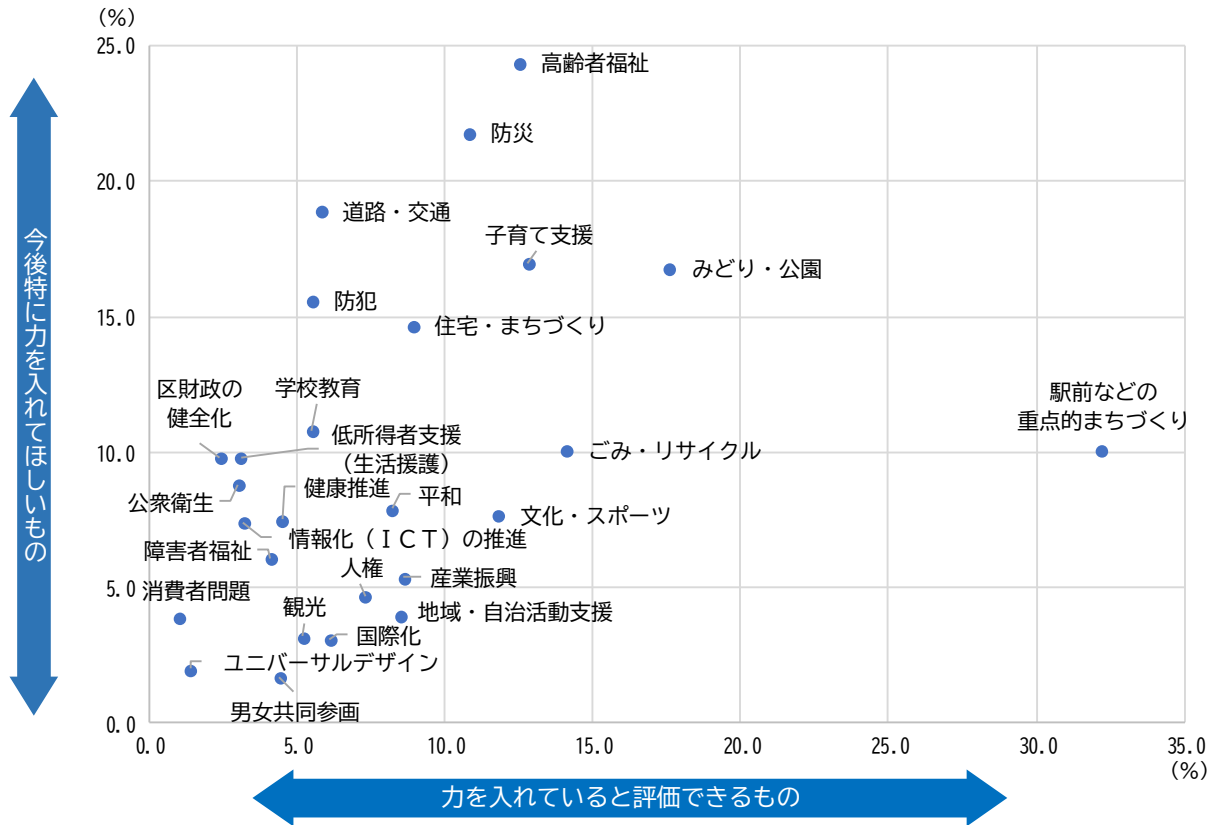
【区の施策への要望】(第1位~3位と合計)



n=1,016
[n=1,084]

(2) 区の施策への評価と要望 散布図

区の施策への評価と要望の関係を見るために、「力を入れていると評価できるもの」を横軸に、「今後特に力を入れてほしいもの」を縦軸にとり、26項目とその位置をあらわしたのが下の図である。この図では、左下に位置するほど「評価」も「要望」も低い施策であることを、反対に図の右上に位置するほど「評価」も「要望」も高い施策であることを意味している。さらに、左上に位置するほど、「評価」は低いが「要望」が高い施策であることを、反対に右下に位置するほど「評価」は高いが「要望」が低いことを意味している。



(3) 区の施策への要望（順位の変化）

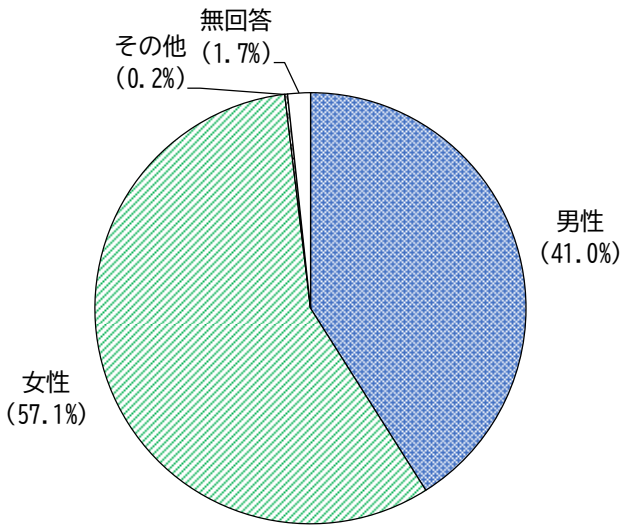
過去9年間および今回の施策要望の上位10位までの推移をみると、昨年から「区財政の健全化」、「公衆衛生」が抜けている。「高齢者福祉」、「子育て支援」、「学校教育」、「ごみ・リサイクル」の順位が上がっており、「高齢者福祉」は2015年以来7年ぶりに1位となっている。

*上段は施策、下段は回答割合（%）
* 同率（%）の場合は、同順位である。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位	第9位	第10位
2013 (n=1,436)	防災	高齢者福祉	防犯	子育て支援	みどり・公園	道路・交通	駅前などの重点的まちづくり	健康促進	学校教育/ 住宅・まちづくり 12.1	
2014 (n=1,249)	防災	高齢者福祉	防犯/子育て支援		道路・交通	みどり・公園	駅前などの重点的まちづくり	学校教育	住宅・まちづくり	産業振興
2015 (n=1,277)	高齢者福祉	防災	防犯	子育て支援	みどり・公園	道路・交通	駅前などの重点的まちづくり	学校教育	区財政の健全化	住宅・まちづくり
2016 (n=1,228)	防災	防犯	高齢者福祉	子育て支援	住宅・まちづくり	みどり・公園	道路・交通	駅前などの重点的まちづくり	区財政の健全化	学校教育
2017 (n=1,167)	防災	高齢者福祉	子育て支援	みどり・公園	防犯	道路・交通	住宅・まちづくり	学校教育	駅前などの重点的まちづくり	ごみ・リサイクル/区財政の健全化
2018 (n=1,145)	防災	高齢者福祉	子育て支援	道路・交通	防犯	みどり・公園	住宅・まちづくり	駅前などの重点的まちづくり	区財政の健全化	学校教育
2019 (n=1,060)	防災	子育て支援	高齢者福祉	道路・交通	防犯	みどり・公園	住宅・まちづくり	駅前などの重点的まちづくり	学校教育	区財政の健全化
2020 (n=1,148)	防災	高齢者福祉	みどり・公園	道路・交通	子育て支援	防犯	駅前などの重点的まちづくり	住宅・まちづくり	ごみ・リサイクル	学校教育
2021 (n=1,084)	防災	道路・交通	みどり・公園	防犯	高齢者福祉	子育て支援	住宅・まちづくり	駅前などの重点的まちづくり	区財政の健全化	公衆衛生
2022 (n=1,016)	高齢者福祉	防災	道路・交通	子育て支援	みどり・公園	防犯	住宅・まちづくり	学校教育	ごみ・リサイクル/ 駅前などの重点的まちづくり 10.1	

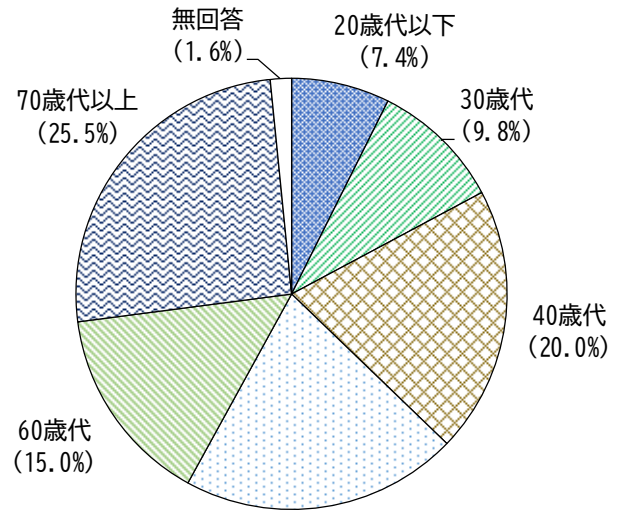
回答者属性

性別



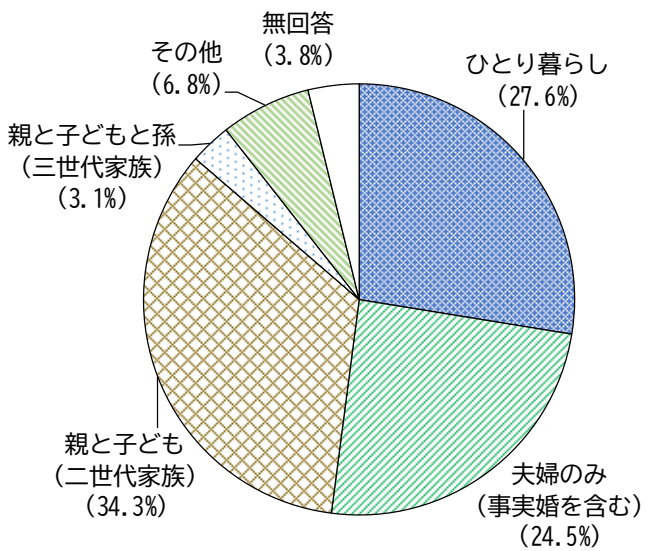
n=1,016

年代



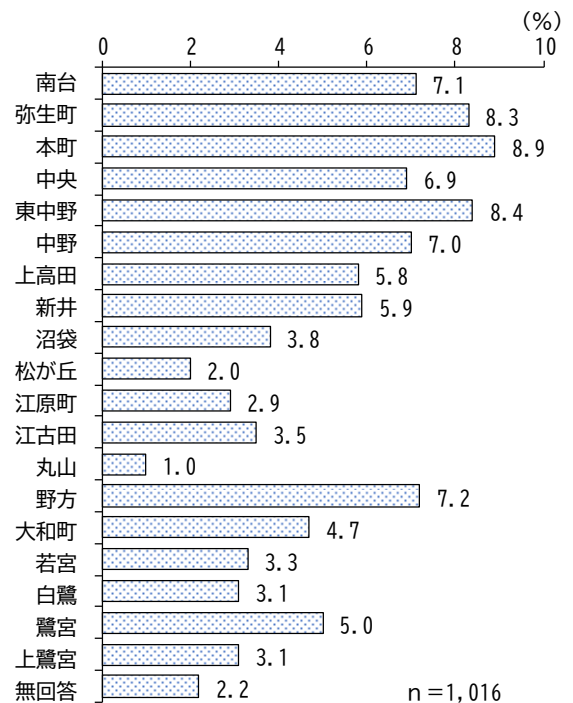
n=1,016

同居家族構成



n=1,016

居住地域



n=1,016

2022 中野区区民意識・実態調査報告書
令和5年2月発行 文書番号 04 中総総第 1779 号
発行：中野区総務部総務課統計係
東京都中野区中野4-8-1
電話 03-3228-8892 (直通)

報告書全文は区ホームページに掲載しております。
以下の二次元コードまたはURLからご覧になれます。



<https://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/dept/152000/d033970.html>